

高齢社会の都市構想

— 課題と可能性 —

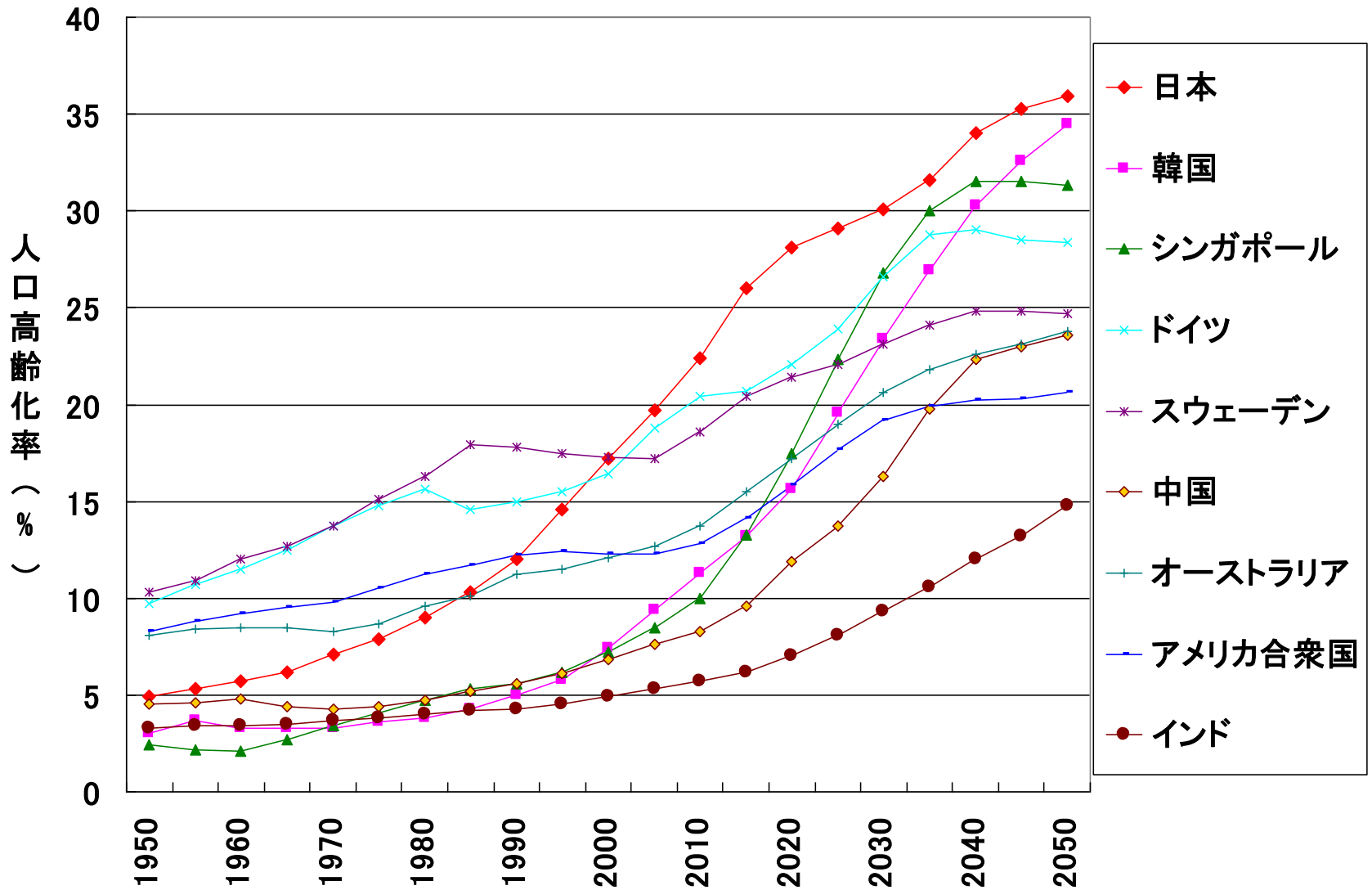
秋山 弘子

東京大学高齢社会総合研究機構

「環境未来都市」構想推進国際フォーラム

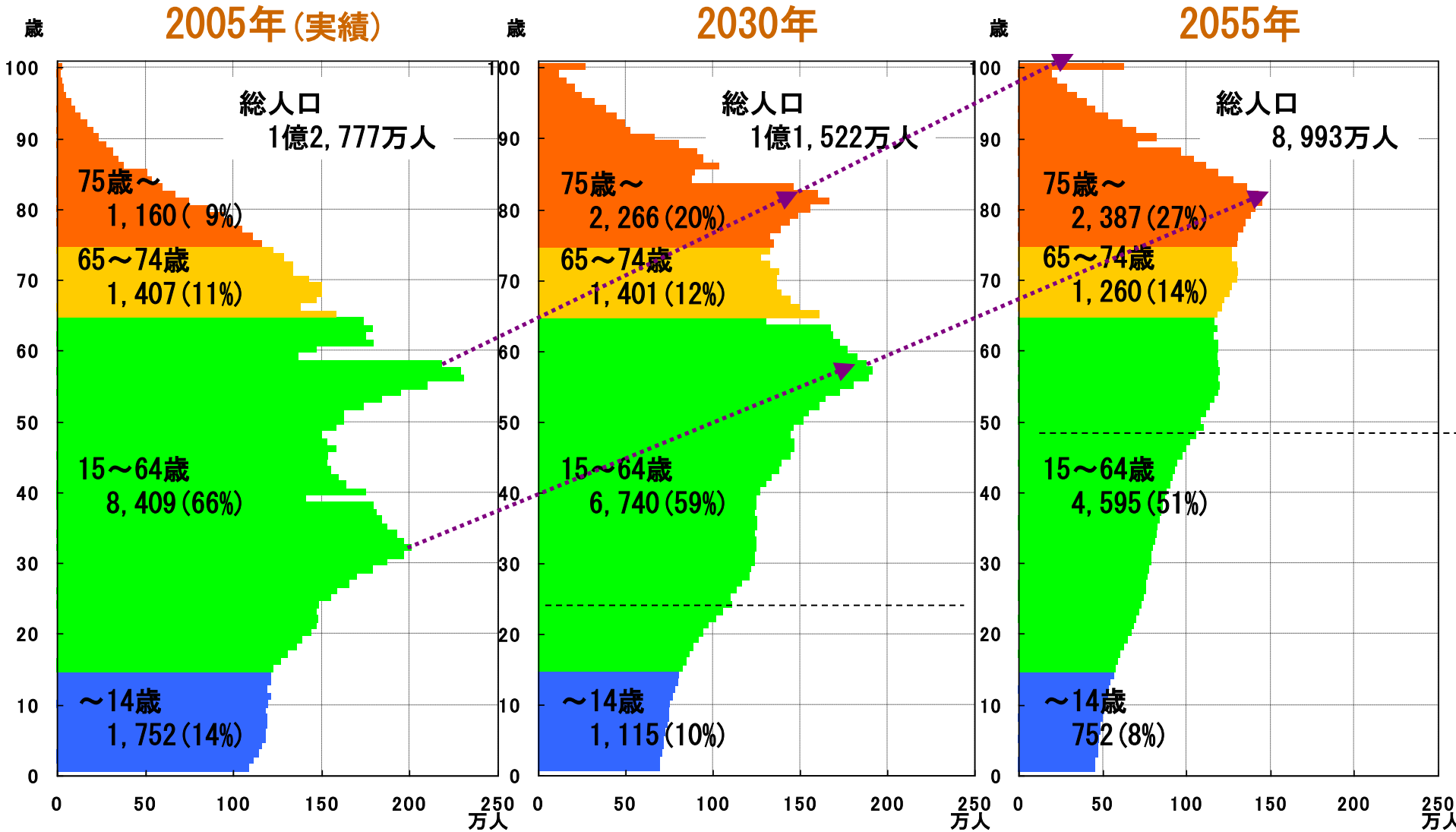
2012年2月21日

アジア人口の高齢化



高齢者人口の高齢化

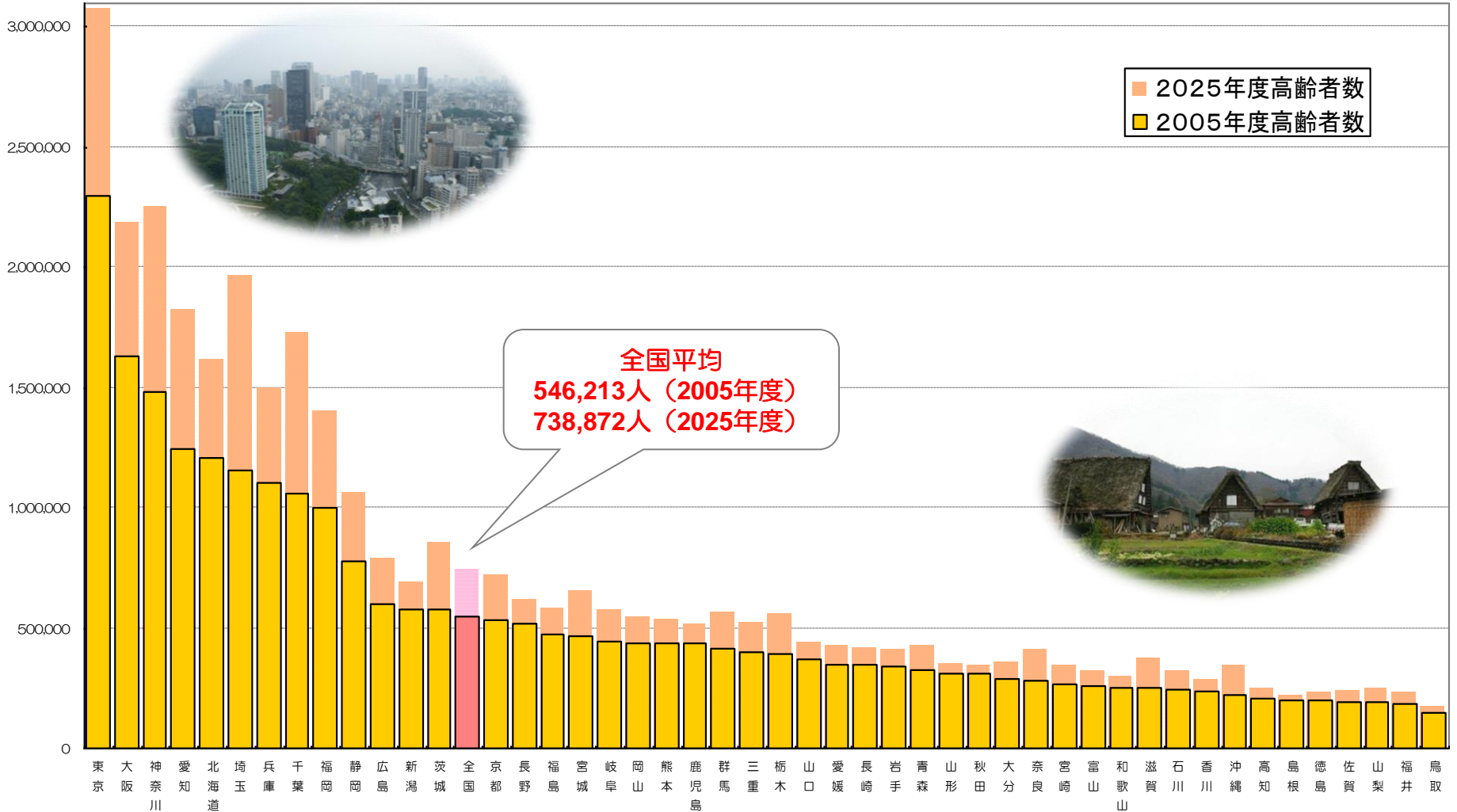
—平成18年中位推計—



注: 2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。

高齢化するのは都市人口

単位:人



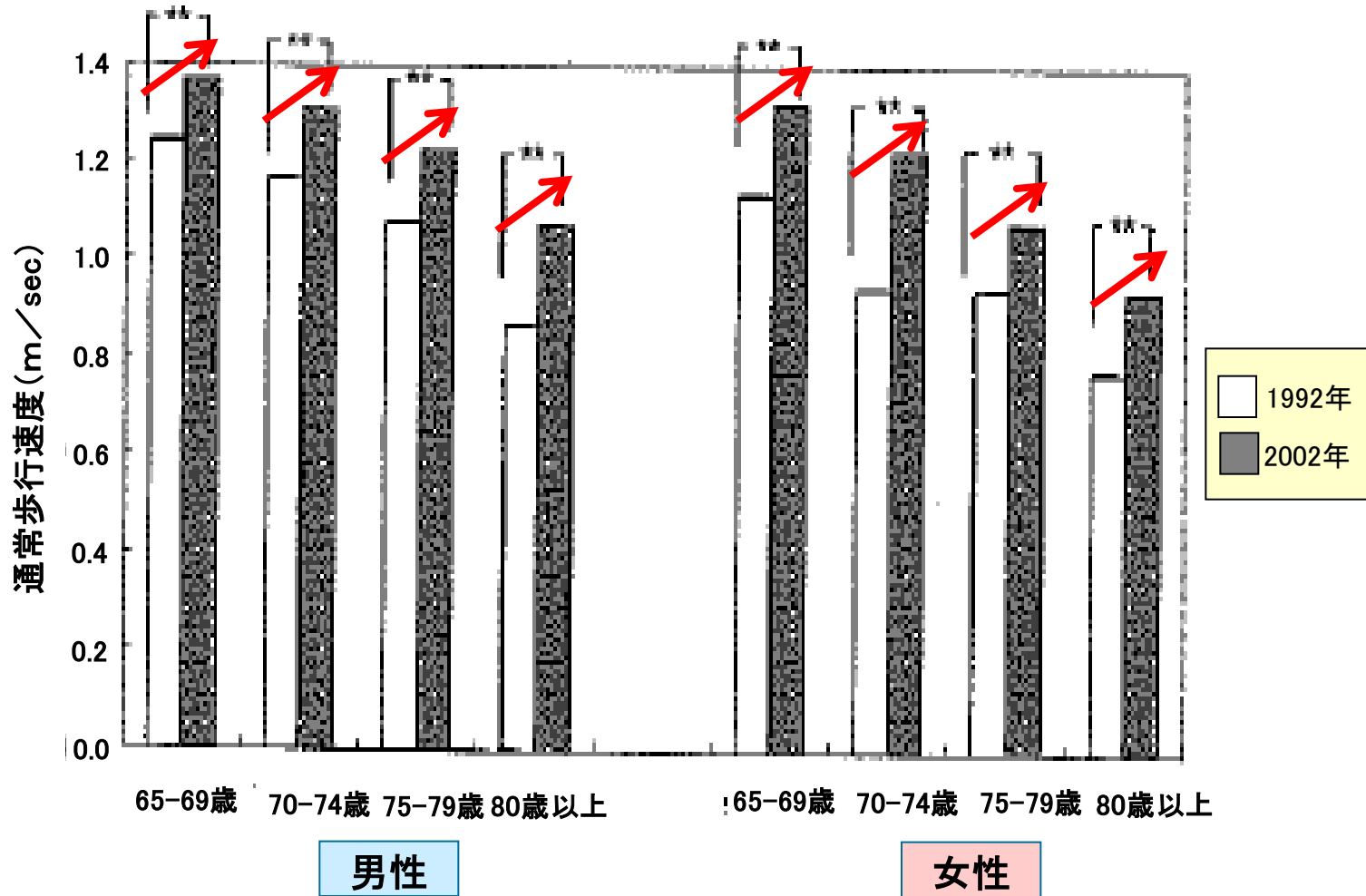
【資料】

2005年の高齢者人口については、総務省統計局「平成17年国勢調査第1次基本集計（確定値）」

2025年の高齢者人口については、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成14年3月推計）」

高齢者は若返っている

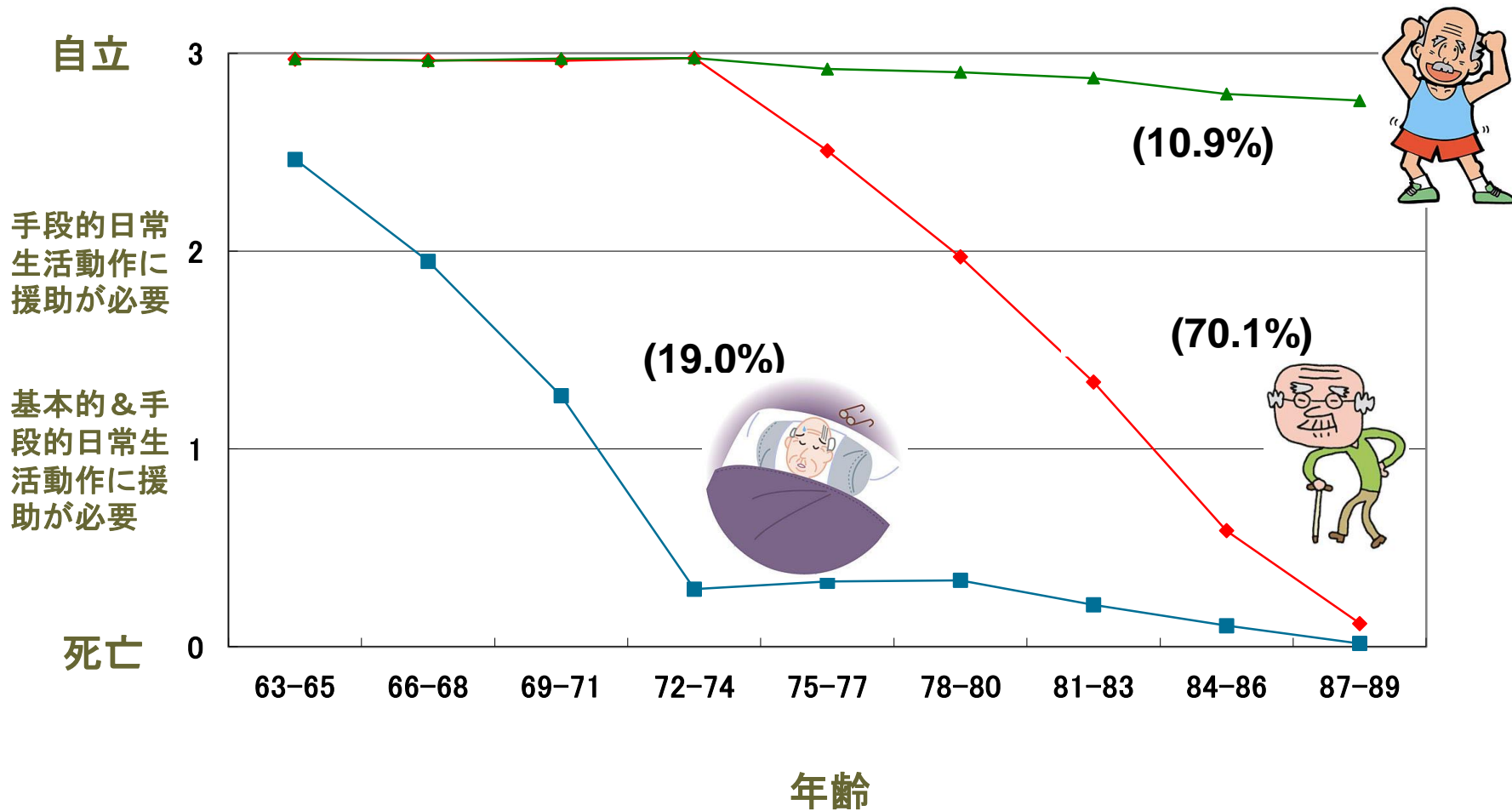
10年前(1992年)と今(2002年)の高齢者の通常歩行速度を比べてみると、男女ともに**11歳**若返っている！(ex.今の75歳は昔の64歳！)



自立度の変化パターン

—全国高齢者20年の追跡調査—

男性

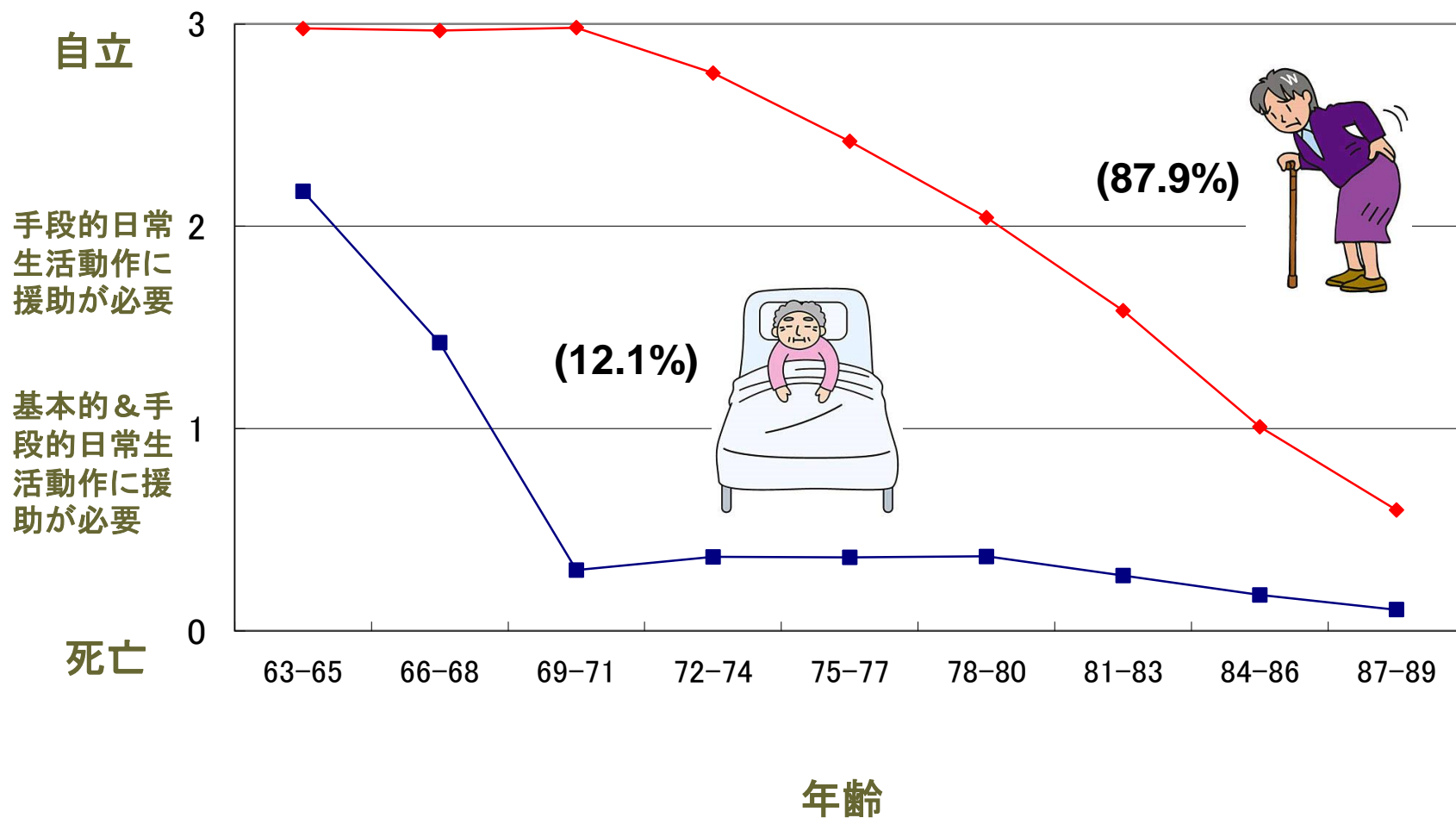


出典) 秋山弘子 長寿時代の科学と社会の構想 『科学』 岩波書店, 2010

自立度の変化パターン

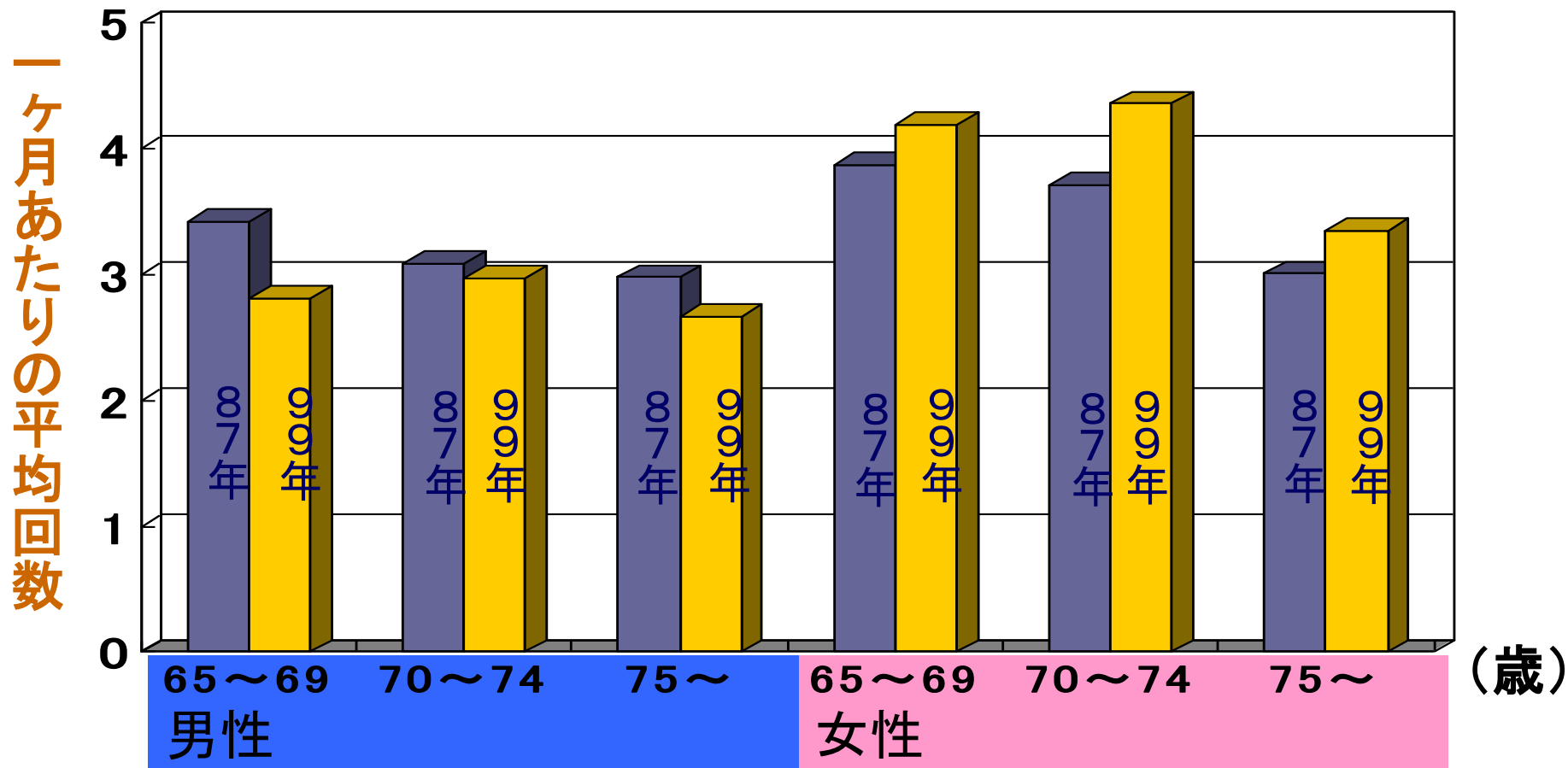
—全国高齢者20年の追跡調査—

女性



出典) 秋山弘子 長寿時代の科学と社会の構想 『科学』 岩波書店, 2010

友人・近所の人・親戚との対面接触



何をなすべきか？（論点）

- 自立期間（健康寿命）の延長
- 高齢者を社会の支え手に
- 住み慣れたところで日常生活の継続を支える生活環境の整備

高齢社会の課題と可能性

